

《研究課題名》

周術期患者における患者加温システムの加温方法による性能の比較

《研究対象者》

2019年1月から2020年5月までに市立長浜病院整形外科において人工膝関節置換術を受けた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の市立長浜病院で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究に関するご質問は下記（４）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究課題名》

周術期患者における患者加温システムの加温方法による性能の比較

《研究期間》

滋賀医科大学学長許可日～2023年3月31日

《研究責任者》

滋賀医科大学 看護学科 臨床看護学講座（クリティカル領域）・遠藤善裕

（２）研究の意義、目的について

《意義》

２種類の患者加温システムの加温性能に差があるかどうか、患者さんの背景情報・手術前血液検査が加温性能にどのように影響を与えるかを明らかにすることで、周術期に患者さんにより適した患者加温システムを使用するための根拠を示すことが期待されます。

《目的》

- ① 導電性繊維を使用した加温システムと温風式加温システムの加温性能の比較を行うこと。
- ② 加温システムの加温性能に与える研究対象者背景情報・手術前血液検査に関する項目を探索すること。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

本研究は、市立長浜病院で2019年1月から2020年5月までに人工膝関節置換術を受けた患者に関する情報（取得する項目は《利用する情報の項目》のとおり）を匿名化（氏名など個人が特定できるような情報を削除すること）した状態で取得し、その情報を解析する研究です。

《利用する情報の項目》

研究対象者背景情報：手術時年齢、性別、身長、体重

手術前に行った血液検査データ

周術期の情報：麻酔方法、麻酔時間、手術時間、使用した加温システムの種類、病棟出棟時体温、入室時体温、加温開始時体温、加温開始30分後体温、麻酔開始1時間後体温、帰室時体温、術中最高体温、術中最低体温

《情報を利用する者の範囲》

研究機関

滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座（クリティカル領域）・遠藤善裕

既存の情報を提供する機関

市立長浜病院 看護科 高田憲明

《情報の管理について責任を有する者》

滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座（クリティカル領域）・遠藤善裕

《本研究に用いた情報の二次利用について》

この研究で有用な知見が得られた場合、今回ご提供いただいた情報を用いて追加解析することで術中加温に影響を与える要因をさらに明らかにする研究の実施を予定しています。後続の研究で使用する際は改めて倫理審査委員会において承認を得てから行います。また、本学附属病院のホームページ（<https://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/ethics/index.html>）でその旨についての情報を公開いたします。

（4）本研究に関する問い合わせ先

担 当 者：滋賀医科大学 看護学科臨床看護学講座（クリティカル領域） 遠藤 善裕

住 所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電 話 番 号：077-548-2440

メールアドレス：yendo@belle.shiga-med.ac.jp